

勅令

昭和十二年勅令第百八十二号 関係

390

REEL No. A-0306

0511

備考  
 一 本表ニ掲グル項目中特ニ其ノ種類ヲ定メザルモノハ付テハ市町村長ニ於テ務業者世帯ノ多寡ニ酌シテ常時貯蓄ニ供給セラルベキ種類ヲ決定スルコト  
 二 本表ニ掲グル種類ニ該當スルモノノナキトキハ市町村長ニ於テ之ニ類似スルモノヲ選定スルコト  
 三 洋服及小児服ノ内夏服ニ付テハ五月乃至九月ニ限リ洋服及小児服ノ内冬服ニ付テハ九月乃至五月及九月乃至十二月ニ限リ之ヲ調査スルコト

地域	家賃	水道料	電気料	ガス料	雑費	その他
札幌市	五〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
仙台市	五〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
山形市	五〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
前橋市	五〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
東京市	三〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
横浜市	三〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
名古屋市	二〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
京都市	二〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
神戸市	二〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
大阪市	二〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
神戸市	二〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
広島市	一〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
徳島市	一〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
今治市	一〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八幡平市	一〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
長野市	一〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
延岡市	一〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

生計費指數資料實地調査票

昭和 年 月 日現在

調査者 姓名	住所 市 郡 町 村	道 府 縣	番 地
調査者 調 査 番	調 査 番	調 査 番	調 査 番
項目番號	項 目	種 類	單 位
價 格	價 格	價 格	價 格

備 考

生計費指數資料調査員印

内 閣 統 計 局

省 令

陸軍省令第十號  
 大正十四年帝國軍ノ北極大撤退ノ際引揚ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル申請規程ノ制定ム  
 昭和十二年五月八日  
 陸軍大臣 杉山 元  
 大正十四年帝國軍ノ北極大撤退ノ際引揚ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル申請規程ニ關スル申請規程  
 第一條 昭和十二年勅令第八十二號ニ依リ救恤金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ居住地ヲ管轄スル地方長官(關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ滿洲國駐節特派員ニ在リテハ南洋廳長官 外國ニ在リテハ其ノ國ニ駐在スル帝國ノ大使 公使又ハ領事)ヲ經由シ左ニ掲グル事項ヲ記載シテ申請書(別紙様式)正副二通ヲ陸軍大臣ニ提出スベシ  
 一 申請者ノ氏名 年齢 職業 本籍及現住地(申請者ノ法人ナルトキハ其ノ名稱及住所)  
 二 申請者ノ被損害者ニ非ザルトキハ被損害者ノ氏名 年齢 職業 本籍及現住地(被損害者ノ法人ナルトキハ其ノ名稱及住所)並ニ申請者ト被損害者トノ關係ヲ明シテ之ヲ記載スベシ  
 三 損害發生ノ年月日  
 四 損害發生ノ場所  
 五 損害發生ノ種類 程度 價格及事由  
 六 損害ノ發生前後ノ事情  
 七 損害ノ發生前被損害者方其ノ地方ニ在リタル期間  
 八 保險金 損害賠償金 救恤金 慰勞料等受領ノ有無及其ノ金額  
 九 其ノ他參考トナルベキ事項  
 第十條 前條ノ申請書ニハ申請者ノ戸籍簿本及印鑑證明書各一通(代理申請ノ場合ニハ本人ノ戸籍簿本及委任狀各一通)並ニ添付スルニ足ルベキ證據方法ヲ開示シ證據書類及證據物件ヲ添付スベシ  
 附 則  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別紙様式

損害申請書

申請者 本籍 現住地	被 害 者 本籍 現住地 申請者与被害者ノ關係	損害 損害財産ノ種類及数量 損害發生ノ年月日 損害發生ノ場所	損害 損害發生ノ事由 損害發生ノ前後ノ事情 賠償金、損害賠償料等ノ金額 無及算出ノ金額	備考 本申請書ニ掲グル事項ヲ證明スルニ足ルベキ證據方法ノ證明書ニ添付セル證據書類及證據物件ノ目錄 其ノ他参考ナルベキ事項
職業 氏名 年月日生	職業 氏名 年月日生			

右申請候也  
昭和十二年 月 日  
陸軍大臣 杉山元殿

申請者 (氏名印)

記載注意

- 一、申請者及被害者ノ氏名ニハ、振假名ヲ附スベシ
  - 二、申請書用紙ハ、陸軍省內政檢査委員會ニ備付アルニ付、申請者ハ成ルベク右用紙ノ交付ヲ受ケテ之ヲ使用スベシ
  - 三、記入スベキ事項多ク申請書用紙ノ欄内ニ之ヲ記入スルコト困難ナル場合ニハ、別紙ニ認メテ之ヲ申請書ニ添付シ、申請書ノ相當欄ニハ右ノ趣ヲ記入スベシ
  - 四、現住地ニ變更アリタル場合ニハ、強滞ナク救恤審査會ニ届出ツベシ
- 農林省令第十四號  
陸出入植物取締法施行規則中左ノ通改正ス  
昭和十二年五月八日  
農林大臣 山崎達之輔
- 第一條第一號ヲ左ノ如ク改ム  
一、輸入又ハ移入スル植物ニシテ左ノ一ニ該當スルモノ  
 (一) 植物、其ノ部分、種子及球根類ニシテ栽培又ハ培養ノ用ニ供スルモノ  
 (二) 生果實但シ鳳梨及朝鮮產蘋果並ニ苜蓿科、茄子科、苜蓿科、蝶形科及西瓜、「メロン」、甜瓜以外ノ葫蘆科ニ屬スル植物ノ生果實ヲ除ク  
 (三) 馬鈴薯ノ生塊莖  
 (四) 第一條ノ二項但書ノ許可ヲ受ケタルモノ  
 (五) (一)乃至(四)ニ掲グルモノノ外植物檢査官吏ニ於テ病菌又ハ害蟲ヲ附著セル處アリト認ムルモノ

第一條中(五)ヲ(三)ニ改ム

第四條第二項中(七)ヲ(五)ニ改ム

第一號様式中「類別」ヲ「種類」ニ改メ同様式中備考ヲ左ノ如ク改ム

備考

- 一、種類ハ、根莖等植物ノ種類ノ名稱ヲ記載シ且苗植物ノ部分、生果實、種子及球根類等ノ如キモノニ付テハ、其ノ區別ヲ明ニスルコト
- 二、價額ハ、原價ニ檢算シ入掛掛費ヲ加算シタルモノヲ記載スルコト

第二號様式中「積載船名」ノ項ノ次ニ左ノ三項ヲ加フ

記 號
積 載 月 日
積 載 港 名

同様式中「出港月日」ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

陸揚港名
陸揚港月日

同様式中備考ヲ左ノ如ク改ム

備考

- 一、種類ハ、根莖等植物ノ種類ノ名稱ヲ記載シ且苗植物ノ部分、生果實、種子及球根類等ノ如キモノニ付テハ、其ノ區別ヲ明ニスルコト
- 二、價額ハ、輸出ノ時ニ於ケル原價ヲ記載スルコト
- 三、申請ノ際陸軍省內政檢査委員會ニ於テ得ザルモノ又ハ之ヲ要セザルモノハ、許可年月日及番號ヲ記載ヲ要セズ

別紙 昭和十二年七月廿壹日付

公普通第一二七三號

昭和十二年七月十六日

在滿洲國

特命全權大使 植田謙

外務大臣 廣田弘毅 殿



損害申請書送付ノ件

今般赤峰領事館ヨリ井上サトエノ提出ニ係ル五月八日附官報掲載  
陸軍省令第十號ニ依リ大正十四年帝國軍北樺太撤退引揚財産被害  
申請書正副二通、證據書類一冊、戶籍謄本二通及印鑑證明二通當  
館宛送付アリタルニ付一件書類茲ニ及送付ニ付可然御取計相成度

在滿日本帝國大使館

要處分

別紙  
陸軍省

昭和十二年七月廿壹日付  
別紙添付

393

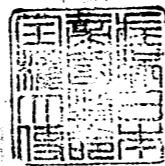
公普通第一二七四號

昭和十二年七月十六日

在滿洲國

特命全權大使 植田謙

外務大臣 廣田弘毅 殿



損害申請書送付ノ件

今般錦州在住杉鹿尾ヨリ別添書翰及損害申請書當館宛送付アリタ  
ルニ付一件書類茲ニ及送付ニ付可然御取計相成度

在滿日本帝國大使館

要處分

別紙  
陸軍省

392

警務	朝鮮	電信	文書	秘書	情報	通商	政務	經理	總務	參事官
III I			了							

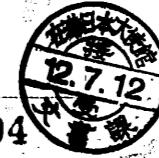
12857

七月九日  
御中

新嘉坡日本帝國大使館

七月九日

杉 鹿 尾



394

福成の盛衰之候も亦各位氣  
 中者様之御事始り此陸軍省の  
 大正十四年帝國軍から此様大敵近  
 の際引揚の爲に或る直屬損害  
 を蒙りたる者も亦本年五月  
 八日官報掲載(五月二十七日閣議  
 轉載)の陸軍省令第十號の定めによる

395

救恤金を別紙申請書提出致し  
 此旨の趣を陸軍省より御  
 送りし事と此段奉願候也  
 謹言

公普通第五六五號

昭和十二年七月二十三日

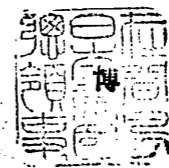
在間島

總領事

川

村

外務大臣 廣田 弘毅 殿



大正十四年帝國軍ノ北樺太撤退ノ際引揚ノ爲  
損害ヲ被リタル者ノ救恤申請ニ關スル件

本件ニ關シ昭和十二年五月五日附勅令第百八十一號ニ基キ同五月八  
日附陸軍省令第十號ヲ以テ公布セラレタル損害救恤申請規程ニヨリ  
今般當管下開山屯居住德丸與一ヨリ左記ノ通同損害ノ申請關係書類  
提出アリ之カ取次方願出ノ次第アリタルヲ以テ右別添茲ニ送付セル

附屬  
陸軍

在間島日本總領事館

附屬添付

昭和十二年七月十九日接受

396

ニ付主務官廳ニ御轉達方可然御取計相成度此段稟請ス

記

添付書類目録

- 一 德丸與一ノ損害申請書 二通
- 二 同人ニ對スル貸下地建物工事變更許可證本文 一通
- 三 同人ニ對スル東亞煙草小賣營業許可證本文 一通
- 四 同建物所有權保存證明書本文 一通
- 五 同官有土地貸下許可證本文 一通
- 六 同貸下地工事變更並増設許可證本文 一通
- 七 同貸下地工事完了検査證本文 一通
- 八 申請者戶籍謄本 二通

在間島日本總領事館

397

九同 海外旅券  
十同 印鑑證明證

一通  
二通

在間島日本總領事館

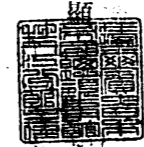
陸軍省  
附録  
( )

普通第二〇四號

昭和十二年七月二十四日

在牡丹江

副領事 栗本秀



外務大臣 廣田 弘毅 殿

勅令第百八十二號ニ依ル損害救恤ニ關スル件

本件ニ關シ當地平安街七番地ノ三居住牧田つるヨリ勅令第百八十  
二號ニ依ル北樺太ニ於ケル損害申請書提出有之タルニ付右正副二  
通茲ニ送付ス  
陸軍省へ交付方可然御取計相仰度

在哈爾濱日本總領事館牡丹江分館

昭和十二年七月廿壹日接受  
別紙添付 B

399





發信用執務用	
主信	
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	

懸案

公 信 案

外 務 省

退引揚財產損害申請書及附屬書類  
送付越タルニ付右送ニ及送~~ヲ~~ニ付可然出取計  
相成渡

記

一井トサト上  
二杉鹿尾

(別添其ノ一添付)

401

文書課長	昭和拾貳年七月廿六日發送済	淨書	正校(原稿)	昭和十二年七月
文書課發送	第一課	昭和十二年七月廿四日附	附屬	手起草
主 管	歐三局長	昭和拾貳年七月廿四日附	附屬	
受 信 人	梅津陸軍次官	昭和拾貳年七月廿四日附	附屬	
名 件	北條不利揚	昭和拾貳年七月廿四日附	附屬	
名 件	損害申請書送 <del>付</del> ノ件	昭和拾貳年七月廿四日附	附屬	
公 信 案	外 務 省	昭和拾貳年七月廿四日附	附屬	

今般在內州國帝國大使~~館~~ヨリ丸記函名ノ  
提出ニ係ル旨白附旨教揚載陸軍省令  
第十號ニ依ル大正十四年帝國軍也樺太撤

24 57

400

電信課長

大臣

次官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 文部 調查 人事 文書 會計 秘書官

寫送先

昭和12 一五八八一 略 哈爾濱 本省 七月廿六日前着

廣田外務大臣

第一五四號

長岡總領事代理

昭和十二年勅令第一八二號ニ基ク救恤申請書ノ取次方ニ關シ五月八日官報發表(陸軍省令第一〇號)以外出先領事館トシテ何等心得置クヘキ點アラハ至急御回示相煩度シ(了)

Handwritten notes and signatures in the central box, including names like '長岡' and '代理'.

外務省

昭五九一課

貴様へ有  
御返書

下夜

昭五九一課

電信寫

昭和12 一五八八一 略 哈爾濱 廿六日前發 救恤

本省 七月廿六日前着

廣田外務大臣 長岡總領事代理

第一五四號

昭和十二年勅令第一八二號ニ基ク救恤申請書ノ取次方ニ關シ五月八日官報發表（陸軍省令第一〇號）以外出先領事館トシテ何等心得置クヘキ點アラハ至急御同示相煩度シ（了）

重田少佐ニ由ル中  
27/11

電 信 案

外 務 省

レトノニトナリ

本電旨段貴電ト共ニ内へ封電アリタシ

ハルビンカレ位屋ニテ提出スルモ取次カレ在ナシ

405

(分類)

電 信 案

外 務 省

貴電第一五四号ニ関シ

官報公示事項以外ニ特ニナキモ陸軍有係旨

ノ旨ニ依リテ申請書提出期限ハ八月三十日ニ至ル

貴電第一五四号ニ関シ

電送第 14467 號	管主 陸軍局長
昭和 12. 7月30日 11時25分發	主任 第一課
名 件 宛	發
提出ノ件	長岡總領事代理
第 九〇 號	名件録記
	廣田大及
	昭和十二年七月廿日 起草

2

30

404

庚辰

(分類門 経理目録 2)

第一課

普通第二一三號  
昭和十二年八月三日

在牡丹江

副領事 柴本秀



外務大臣 廣田 弘毅 殿

勅令第百八十二號ニ依ル損害救恤申請ノ件

本件ニ關シ當館管下樺林居住枝松安次郎ヨリ勅令第百八十二號ニ  
依ル北樺太ニ於ケル損害申請書提出有之タルニ付右正副ニ送付ス  
送付ス、陸軍省へ交付方可然御取計相仰度

在哈爾濱日本總領事館牡丹江分館

陸軍省  
派遺軍用車  
運送軍用物資  
昭和十二年八月三日 接受

別紙添付 B

406

公文書

注意 別添其係添附ノ下

一 徳丸總一 (在由島總領了結扱)

二 牧田了 (在牡丹江領事令能扱)

記

請書及附屬書類送附 取付ニ付右送ニ 転送

二付可也尚取付相 成 方

408

發信用執務用	
主信	
附	甲
	乙
	丙
	丁
備考	

文書課長

文書課發送 昭和拾貳年八月五日 發送済 淨書

主 歐亞課長

任 第一課

昭和十一年八月三日起草

正校 (原稿) 長 (淨書)

昭和一普通 第八五五號 昭和昭和拾貳年八月四日附 附屬

名人信受 梅津陸軍次官

名人信發 堀内外務次官

名件 北樺太引揚指責申請書転送一件

今般在滿帝國公館了夫之九記一者一提出ニ係ル

十四日帝國回軍世樺太撤退引揚財之臣指責書中

公文書

外務省

4 42

407

歐亞局 第一課  
昭和三年八月拾四日接受  
別紙添付

普通第二一六號

昭和十二年八月五日

在牡丹江

副領事

栗

本

秀

顯



外務大臣 廣田 弘毅 殿

勅令第百八十二號ニ基ク損害救恤申請ニ關スル件

本件ニ關シ當地在住左記二名ヨリ北樺太ニ於ケル損害申請書提出有之タルニ付正副二通茲ニ送付ス  
陸軍省へ交付方可然御取計相仰度

記

牡丹江圓明街一番地ノ八

小原 忠次郎

牡丹江金鈴街四ノ六

木村 忠助

在哈爾濱日本總領事館牡丹江分館

409

要分

歐亞局 第一課

昭和三年八月拾參日接受

公機密第三〇〇號

昭和十二年八月七日

別紙添附

在新京

總領事代理 柴崎 白



外務大臣 廣田 弘毅 殿

昭和十二年勅令第百八十二號ニ基ク救恤金ニ關スル件

本件ニ關シ今般左記東イズヨリ別添ノ通損害申請書(正副二通)提出アリタルニ付茲ニ送付ス御查收ノ上陸軍省へ轉達方可然御取計相成度

記

現住所

申請者  
東京 伊 ズ

新京市西五馬路

在新京日本總領事館

要分

410

發信用執務用	
主信	/
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	

勅令第四百八十二号ニ依リ損害救恤申請書提出  
 アルルニ付右南條幸雄一ツ送達由  
 一ツ送達由行却却友ニ

（修正副三通）

公 信 案  
 外 務 省

412

主 管	
歐亞局長	
第一課長	
昭和十二年八月十二日起草	
昭 和 十 二 年 八 月 十 二 日 起 草	
附 屬	
陸軍次官梅津中將	
陸軍次官	
勅令第四百八十二号ニ基キ損害救恤申請書提出	
今般在哈爾濱帝國總領事館牡丹江分館	
ニ對シ同館管轄區域ニ居住ノ本邦人枝松	
安次郎、小原忠次郎、木村忠助ノ三名ニ	
公 信 案	
外 務 省	

17 20

411



(分類) 門 類 項 目

公機密第三一五號

昭和十二年八月十八日

昭和十二年八月廿三日接

別紙添附

在新京  
總領事代理 柴崎 白



外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

昭和十二年勅令第八十二號ニ基ク救恤  
金ニ關スル件

本件ニ關シ今般左記田中武義外二名ヨリ別添ノ通損害申請書各正副二  
通提出アリタルニ付茲ニ送付ス御查收ノ上陸軍省へ轉達方可然御取計  
相成度此段申進ス

追テ田中武義提出ノ申請書副本ニハ謄本無之爲差當リ戶籍抄本添附  
シアルモ謄本ハ徵收次第送付ノ豫定ニ付右御含置相成度  
記

在新京日本總領事館

414

現 住 所

氏 名

新京南嶺同仁郷二一四番地

田 中 武 義

新京特別市西五馬路新市場分所  
西胡同貳號

佐 波 タ マ

新京特別市東三馬路第四拾五號地  
宮 坂 大 吉

在新京日本總領事館

413

歐亞局  
昭和三十二年八月廿六日接受

公機密第三二〇號  
昭和三十二年八月二十日  
別紙添附

在新京  
總領事代理 柴崎 白

外務大臣 廣田 弘毅 殿



昭和十二年勅令第百八十二號ニ基ク救恤  
金ニ關スル件

八月十八日附機密第三一五號拙信ニ關シ田中武義ノ戶籍謄本別添ノ  
通追送ス可然御取計相成度

在新京日本總領事館

懸察

普通第七一五號

昭和十二年八月二十一日

在 青 島

總領事 大 鷹 正 次



外務大臣 廣田 弘毅 殿

本信附原書類

- (一) 損害申請書
- (二) 二八二一日附
- (三) 吉森ノノ者陸軍大臣宛
- (四) 損害目録
- (五) 伊勢野
- (六) 吉森ノノノ事務原本

昭和十二年勅令第一八二號ニ基ク  
大正十四年帝國軍ノ北樺太撤退ノ  
際引揚ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救  
恤申請書送付ノ件

今般當地清平路九號新高樓内居住吉森ノヲヨリ別添本件申請  
書當館へ提出アリタルニ付陸軍省へ轉達方可然御取計相成度

在青島日本總領事館

公 信 案

外 務 省

セニ付右送達申進ス

418

	發信用	執務用
主信	/	/
附屬	甲	
	乙	
	丙	
	丁	
備考		

原  
副  
ト

文書課長

文書課發 送附和拾貳年八月廿五日發送済

主 任 第一課長

昭 和 拾 貳 年 八 月 廿 四 日 附 附 屬

淨書 (最上) 正校 (原稿) (合) (淨書)

昭 和 十 二 年 八 月 二 十 三 日 起 草

受 信 人 名

梅津陸軍次官

名 件

昭和十二年勅令第百八十二号ニ基テ救恤金附之件

今般在滿中團新京帝國總領事館ヨリ

団中武義外二名ノ昭和十二年勅令第百八十二

号ニ基テ損害申請書正副二通送附越

名件録記 名人信發

梅津陸軍次官

昭和十二年八月廿四日附

別

24

83

417

歐亞局

第一線

昭和十二年八月廿五日  
附屬添付

公普通第一五六五號

昭和十二年八月二十五日

在滿洲國  
特命全權大使 植田 謙



一、七、七、九日附  
工藤良作市面(郵便切手二十枚入り)  
損害申請書正副二通  
二、損害申請書正副一通  
三、損害申請書正副一通  
四、損害申請書正副一通  
五、損害申請書正副一通

損害申請書送付ノ件

今般牡丹江省東寧縣北河沿新市街在住工藤良作ヨリ別添書翰及損害申請書等必要書類當館宛送付アリタルニ付一件書類茲ニ及送付ニ付可然御取計相成度

在滿日本帝國大使館

419

歐亞局

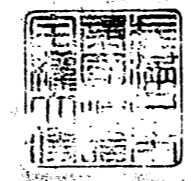
第一線

昭和十二年八月廿五日  
別紙添付

公普通第一五六六號

昭和十二年八月二十五日

在滿洲國  
特命全權大使 植田 謙



損害申請書正副二通  
損害申請書正副一通  
損害申請書正副一通  
損害申請書正副一通  
損害申請書正副一通  
損害申請書正副一通  
損害申請書正副一通  
損害申請書正副一通  
損害申請書正副一通  
損害申請書正副一通

外務大臣 廣田 弘毅 殿

損害申請書送付ノ件

本件ニ關シテハ本年七月十六日附公普通第一二七四號往信ヲ以テ及送付置タル處今般錦縣在住杉鹿尾ヨリ別添損害申請書等參考書類當館宛送付アリタルニ付一件書類茲ニ及送付ニ付可然御取計相成度シ

在滿日本帝國大使館

420

梅津陸軍次官  
別紙 附送

發信用 執務用		
主信	/	
附	甲	
	乙	
	丙	
屬	丁	
備考		
公文書	受信人	梅津陸軍次官
	送信人	堀内外務次官
	件名	昭和十二年勅令第百八十二号ノ基础ニ基キ救恤金ニ關スル件
	内容	今般在滿洲國新京帝國總領事 イヌノ 昭和十二年勅令第百八十二号ノ基础ニ基キ救恤金 ニ關スル 撥充申請書送附 送附セヨ 送達申請書 正副二通 右様ニ
	備考	
	機密	第一課長 昭和十二年八月廿五日 附屬
	號碼	昭 和 拾 貳 年 八 月 廿 五 日 日 附 附 屬
	主 管	歐亞局長 第一課長
	文書課	文書課發送昭和拾貳年八月廿六日發送済 淨書 (原稿) (淨書) 昭和十二年八月廿四日起草
	校 正	
	別紙	
	外 務 省	

25 51

421

REEL No. A-0306

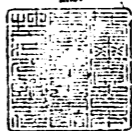
歐亞局

普通第二五三號

昭和十二年八月二十六日

在牡丹江

副領事 栗本秀顯



外務大臣 廣田弘毅 殿

勅令第百八十二號ニ基ク共恤金申請ニ關スル件

本件ニ關シ富管内居住左記二名ヨリ被害救恤申請書提出アリタルニ付正副二通送付ス陸軍省ヘ回付方可然御取計相俾度

一、牡丹江省齊齊哈爾縣牡丹江金錦街拾ノ拾貳

近 藤 近 松

在哈爾濱日本總領事館牡丹江分館

昭和十二年九月貳日 接受

422

423

一、牡丹江省齊安縣牡丹江圓明街四ノ拾參

明治拾九年七月貳拾八日生

有 田 キ ノ

明治拾貳年拾月八日生

在哈爾濱日本總領事館牡丹江分館

外務省

第一課

昭和三年九月六日 接受  
別紙添附

普通第二九〇號

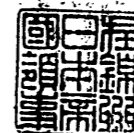
昭和十二年八月三十日

在錦州

領事

川西

豐城



外務大臣 廣田 弘毅 殿

大正十四年帝國軍ノ北樺太撤退ノ際引揚  
ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤金申請書進  
達ノ件

本件ニ關シ當館管内壺蘆島居住矢口己之助ヨリ別紙ノ通り損害申請  
書提出シ來レルニ付茲許進達ス陸軍省へ(二通其儘)可然轉送相  
成度此段申進ス

在錦洲日本領事館

發信用	執務用				
主信	甲				
附	乙				
屬	丙				
	丁				
備考					

懸案

日附八月三十日  
一月附スル  
（文部課下  
打合せ）

主 歐亞局長  
政一 普通第 九二七 號  
昭和 年 月 日附 附屬  
任 歐亞第 課 昭和十二年八月三十一日起草

受 信 人 名  
梅津陸軍次官

件 名  
大正十四年帝軍北樺太撤退後引揚ノ為被リタル  
損害申請書送付ノ件

今般在滿洲玉植田大使ヨリ牡丹江省東寧縣北  
河沿街在住工員蘇良作及錦林在杉鹿  
尾ヨリ夫々提出申知レテ九記書類送付アリタルニ

公 信 案

1 23

426

發信用	執務用				
主信	甲				
附	乙				
屬	丙				
	丁				
備考					

懸案

備考  
陸軍省經理局  
主計課  
地永少佐係  
（自三下係）  
（自三下係）

主 歐亞局長  
政一 普通第 九二七 號  
昭和 年 月 日附 附屬

受 信 人 名  
梅津陸軍次官

件 名  
昭和十二年勅令第一八二号ニ基ク大正十四年帝  
國軍ノ北樺太撤退ノ際引揚ノ為損害ヲ被リタル  
者ノ救恤申請書送付ノ件

今般在青島大鷹島臨鏡ヨリ送付アリタリ同地該平  
路九号新高樓ニ居住吉森ノブ提出ニ係ル本件申請  
書正副二通送付スルニ付可成中取計取成

（注意）八月三十一日付青島東信海軍事務課ヨリ送付

公 信 案

30 182

425

別紙



發信用	執務用
主信	/
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	

八月三十一日  
八月三十一日  
八月三十一日

憑案

公文書	案	外務省
正副二通免送付越タルニ付右茲ニ	二名ノ者ノ提出ニ係ル本件申請書支	今敢在牡丹江栗中副領事ヨリ花記
件昭和十二年勅令第一八二号ニ基ク大正十四年帝軍ノ 北樺太撤退ノ際引揚ノ被リタル者ノ救恤申請 書送付件	梅津 陸軍次官	堀内 次官
政(普通) 第九四七號 昭和十二年八月廿一日附附屬	主 文書課發送昭和拾貳年九月 參日發送済	正校(原稿) 淨書
管 政(普通) 第九四七號 昭和十二年八月廿一日附附屬	主 文書課發送昭和拾貳年九月 參日發送済	正校(原稿) 淨書
管 政(普通) 第九四七號 昭和十二年八月廿一日附附屬	主 文書課發送昭和拾貳年九月 參日發送済	正校(原稿) 淨書

3 183

428

備考  
八月二十五日附  
一五七五号  
瑞末信附屬

備考  
八月二十五日附  
一五七五号  
瑞末信附屬

公文書	案	外務省
二付右茲ニ轉送ス	記	一通
一工藤良作	北樺太引揚當時参事書	一通
二杉鹿尾	北樺太引揚當時参事書	一通
三	北樺太引揚當時参事書	一通
四	北樺太引揚當時参事書	一通
五	北樺太引揚當時参事書	一通
六	北樺太引揚當時参事書	一通
七	北樺太引揚當時参事書	一通
八	北樺太引揚當時参事書	一通
九	北樺太引揚當時参事書	一通
十	北樺太引揚當時参事書	一通

427

送付ス 可奉 一 本 計 書 送 付

記

一 近 藤 近 松

二 有 田 キノ

昭和十二年八月廿六日附牡丹江東邊才二五三平附原  
ノ其ノ係係件ノコト

公 信 案  
外 務 省

429

歐亞局

第一課

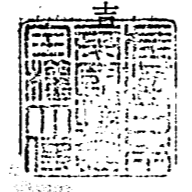
附 屬 添 付

430

公普通第一六二三號  
昭和十二年九月一日

昭和十二年九月六日 接受

在滿洲國  
特命全權大使 植 田 謙 吉



外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

損害申請書送付ノ件

今般大連在住佐藤一雄ヨリ別添損害申請書二通、目錄、戶籍謄本、  
證明書各一通當館宛送付アリタルニ付一件書類茲ニ及送付ニ付可  
然御取計相成度

在滿日本帝國大使館

機密第四八四號  
昭和十二年九月二日  
在奉天  
總領事 森岡正  
外務大臣 廣田弘毅 殿  
別紙添付  
昭和十二年九月六日 接受  
B

北樺大引揚損害申請書送付ノ件  
本件ニ關シ別紙寫ノ通下關市長ヨリ申越アリタルヲ以テ當地居住義原史郎ヨリ左記申請書等提出セシメ關係附屬書類ト共ニ別添送付セラルニ付右御查收ノ上陸軍省側ニ對シ轉送方可然御取計相成度此段申進ス



在奉天日本帝國總領事館

432

一、損害申請書 三通  
一、戶籍抄本 一通  
一、印鑑證明 一通  
一、關係書類（下關市長送付ノモノ） 一括  
本信寫送付先 下關市長

在奉天日本帝國總領事館

431



社第七五八號

昭和十二年八月十九日

下關市長 松井 信助

奉天總領事 殿

薩哈噠撤退ノ被害申請ニ關スル件

首標ノ件ニ關シ北樺太日本人會知取支部ヨリ別紙ノ通り依頼越候處  
本人ハ昭和九年七月二十六日死亡家督相續人義原史郎ナル者貴管内  
雪見町五二ノ五ノ二ニ居住ノ趣ニ付キ可然御取計相煩度別紙一件書  
類添付此段及御依頼候也

在奉天日本帝國總領事館

433

歐亞局

第一線

別紙

昭和十二年九月八日 接受  
添付

公普通第三三六號

昭和十二年九月三日

在齊々哈爾

總領事 田中 莊 太



外務大臣 廣田 弘毅 殿

陸軍救恤金請求ニ關スル件

昭和十二年五月八日陸軍省令第十號ニ基キ管内居住竹内榮之政外二名  
ヨリ本件申請書提出アリタルニ依リ各二部別添進達ス可然御取計相成  
度

在齊々哈爾日本帝國總領事館

434

主信	發信用	執務用
附屬	甲	
	乙	
	丙	
	丁	
備考		

懸案

公文	信案	案
主 歐空局長 管 第一課長 任 第一課長 昭和十二年九月七日 起草 昭和十二年九月八日 附屬 昭和十二年九月八日 附屬		
受信人	梅津 陸軍次官	堀内 外務次官
件名	北樺太引揚損害救恤申請書轉送件	
今般在滿帝公敕ヨリ支々在記ノ者ノ提出 係ル陸軍省令第十号ニ依ル大正十四年 帝軍北樺太撤退ノ為損害救恤申請書 外務省		

8 49

436

文書課長

別紙

在海拉爾日本領事館

機密第三一五號  
 昭和十二年九月三日  
 在海拉爾  
 領事代理 三 付 哲  
 外務大臣 廣 田 弘 毅 殿  
 損害申請書送付ノ件  
 當地居住中村マサキヨリ當道ニ對シ昭和十二年勅令第百八十二號  
 ニ基ク損害申請書ノ提出アリタル處同年陸軍省令第十號第一條ニ  
 依レハ右申請書ハ領事ヲ經由シ陸軍大臣ニ提出スルコト、相成層  
 ルニ付右關係書類別紙送付ス可然御取計相成度

昭和十二年九月九日 接受  
 別紙添附

435

發信用	執務用
主信	/
附甲	
附乙	
附丙	
附丁	
備考	

憑案

公文信案	外務省
主件名	梅津 陸軍次官
受人名	堀内 次官
受信名	
件名	北樺太引揚損害救恤申請書轉送1件
<p>今般在滿帝玉公使より文々火記ノ者ノ提出ニ係ル          陸軍省令第十号ニ依ル大正十四年 帝玉軍北樺          太撤退ノ為ノ損害救恤申請書及附屬書類</p>	
主管	文書課長
主	文書課發贈和拾貳年九月 拾日發送済
管	普通密 第九十九號
次	昭和拾貳年九月拾日
日附	附屬
正校	(原稿) 淨書
昭和十二年九月十一日起草	

文書課長

別紙

10 88 438

公文信案	外務省
記	
一、	矢口 己之助 (在錦州領事館扱)
二、	佐藤 一雄 (在滿帝玉大使館扱)
三、	義原 史郎 (在奉天總領事館扱)
送不	可送中取計相成
及附屬書類送付越タルニ付右為ニ轉	
注意	本年八月三十日附屬書類送付九日号 九月一日附屬書類送付九日号 九月二日附屬書類送付九日号 九月三日附屬書類送付九日号 九月四日附屬書類送付九日号 九月五日附屬書類送付九日号 九月六日附屬書類送付九日号 九月七日附屬書類送付九日号 九月八日附屬書類送付九日号 九月九日附屬書類送付九日号 九月十日附屬書類送付九日号 九月十一日附屬書類送付九日号 九月十二日附屬書類送付九日号 九月十三日附屬書類送付九日号 九月十四日附屬書類送付九日号 九月十五日附屬書類送付九日号 九月十六日附屬書類送付九日号 九月十七日附屬書類送付九日号 九月十八日附屬書類送付九日号 九月十九日附屬書類送付九日号 九月二十日附屬書類送付九日号 九月二十一日附屬書類送付九日号 九月二十二日附屬書類送付九日号 九月二十三日附屬書類送付九日号 九月二十四日附屬書類送付九日号 九月二十五日附屬書類送付九日号 九月二十六日附屬書類送付九日号 九月二十七日附屬書類送付九日号 九月二十八日附屬書類送付九日号 九月二十九日附屬書類送付九日号 九月三十日附屬書類送付九日号

437

送付越スルニ付右紙ニ轉送ス

記

一、竹内

栄之丞

(在齊ハハ哈爾濱總領事館)

二、竹内

ソウ

(左前)

三、森

辨也

(左前)

四、中村

マサキ

(在滿拉爾總領事館)

公 信 案  
外 務 省  
注意、十年九月三日附齊ハハ哈爾濱公署三二二二号(手)附原ノ其係添付ト  
昭和十二年九月二十日

歐亞局

普通第八八五號

第二課

別紙添付

昭和十二年九月二十日

昭和十二年九月廿七日

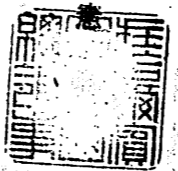
在 哈 爾 濱

總領事 鶴 見

外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

昭和十年勅令第八十二號ニ基ク被害救恤ニ  
關スル件

本件損害申請ニ關シテハ曩ニ七月下旬貴電御來示ノ次第アリタル以外  
ニハ何等他ニ御指示無之從ツテ當館ニ於テハ本件ニ關シ之ヲ一般ニ告  
示スル等ノコト無カリシモ關係被害者左記三名ヨリ夫々損害申請書並



440

439

發信用執務用	
主信	/
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	領門

公文案	帝云軍北樺太撤退ノ為、損害救恤申請書
出係	陸軍省令第十号ニ依ル大正十四年
今夜在	哈爾濱總領事ヨリ左記ノ者ノ提
北樺太	引揚損害救恤申請書轉送ノ件
受信人	梅津 陸軍次官
名件録記	堀内 次官
主管	文書課發送 昭和拾貳年九月廿九日發送済
次	一普通 第一〇一七號 昭和拾貳年九月廿九日附 附屬
主任	長 昭和十二年九月廿九日起草
正校	(原稿) 淨書
別紙	

文書課長

別紙

442

ニ關係書類提出アリタルニ付一括茲ニ進達ス可然御取計相成度  
 追テ本件ニ關シ心得置クヘキ事項有之ハ御回示相煩度  
 記  
 損害申請者 現 住 所  
 中里 源太郎 哈爾濱市馬家溝新永和街五ノ六  
 加島 甲子太郎 哈爾濱市埠頭區石頭道街五十三號  
 近 新次郎 哈爾濱市南崗郵政街五號

441



及附屬書類送付越タルニ付右茲ニ送付ス

記

一 中里 源太郎

二 加島 甲子太郎

三 近 新次郎

注意 九月二十日附ハ申書來信善也亦八八五号ノ附屬ノ其ノ修添付ノ事

公 信 案

外 務 省

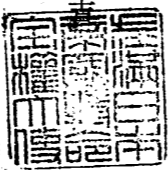
歐亞局

公普通第一八八〇號

昭和十二年十月一日

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙



外務大臣 廣田 弘毅 殿

損害申請書送付ノ件

今般奉天在住千田喜一郎ヨリ別添損害申請書二通印鑑證明、戸籍謄本一通及其他参考書類等當館宛送付アリタルニ付一件書類茲ニ及送付ニ付可然御取計相成度シ

在滿日本帝國大使館

昭和十二年拾月八日 付受

444

443

主信	/		
附	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考			

懸案

公 信 案

外 務 省

停庫方依極越... 送附申送候  
 別添附其宛送(12)

446

文書課長

文書課發送 昭和拾貳年拾月拾壹日發送済

主 管 歐亞局長 了

主 任 第一課長

昭 和 十 二 年 十 月 十 一 日 起 草

改一普通 第一〇四一號 昭昭和拾貳年拾月拾壹日 附 附屬

受 信 人 名

梅津陸軍少官

名 件 名

損害申請書送附の件

奉天總領事シラス

今般奉天在任 千田喜一郎 別添候

言甲清書二通 印留認明 白籍謄本一通

人其地 考考取道 陸軍省局

名 件 記 録

名 人 信 發

堀吹少官

別紙

正校(原稿) (淨書)

昭 和 十 二 年 十 月 十 一 日 起 草

11 138

445

歐亞局

歐亞課

昭和三年拾月廿貳日授受

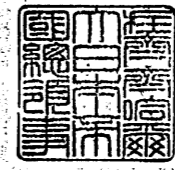
公普通第四〇〇號

昭和十二年十月十八日

別紙添附

在齊々哈爾  
總領事 田中 莊太郎

外務大臣 廣田 弘毅 殿



大正十四年北樺太ヨリ帝國軍隊撤退ノ際引揚ノ爲  
 損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル件  
 當館管内北安鎮居住限部起三ヨリ本年勅令第一八二號ニ依ル首題ノ件  
 ニ關シ左記ノ通損害申請書ノ提出アリタル處右ハ既ニ申請期日經過後  
 ナルモ本人ノ希望モアリ一應進達ス若シ御詮議ノ餘地アラハ何分ノ御  
 取計相成様致度シ

記

在齊々哈爾日本帝國總領事館

448

損害申請書

參考書

印鑑證明書

戶籍謄本

限部起三ノ分

二 通

一 通

一 通

限部京造ノ分

損害申請書

參考書

印鑑證明書

委任狀

戶籍謄本

二 通

二 通

二 通

一 通

在齊々哈爾日本帝國總領事館

447

主信	發信用	執務用
附甲		
附乙		
附丙		
附丁		
備考		

懸案

公 信 案

外 務 省

ノ為ノ損害救恤申請書及附屬書類ヲ送  
付越シタルニ付右茲ニ轉送ス

十月十八日附々ハル來信公署迄付四〇〇号  
其ノ係涉付

450

文書課長	文書課發送 昭和拾貳年 拾月廿七日發送済	主 任 第一課長	昭 和 十 二 年 十 月 廿 六 日 起 草
改一普通	第一〇六九號	昭 和 拾 貳 年 拾 月 廿 七 日	日 附 附 屬
受 信 人 名	梅津 陸軍次官	名 人 信 發	堀内 次官
件 名	北樺太引揚損害申請書送付ノ件	名 件 錄 記	
今般在齊々哈尔田中總領事ヨリ令欲 管内居住隈部起三ノ提出ニ係ル陸軍省 令第十号ニ依ル大正十四年帝軍北樺太撤退			

27 1

449

主信	發信用執務用
附 甲	
乙	
丙	
丁	
備考	(分類) 1. 3. 5-2

歐亞局長

次官

公 信 案	趣了承右ハ者有。於テ差支無之此段回答申進ス	本件ニ關シ本月八日附人往才一四五号ヲ以テ御照會ノ	井上外務省歐亞局長救恤審查會委員任命ノ件	受信人	梅津 陸軍次官
				發信人	堀内 外務次官
外 務 省	昭和一二年十一月九日附屬	主 任	梅津 陸軍次官	主 任	堀内 外務次官
		主 任	梅津 陸軍次官	主 任	堀内 外務次官

11 59

文書課長

文書課發 昭和拾貳年拾壹日發送

淨書

正校(原稿) (淨書)

4452

A. 1. 3. 5-2

人事課  
人往第一四五四號

救恤審查會審查員ニ關スル件照會

昭和十二年十一月八日

陸軍次官 梅津美治郎

外務次官 堀内謙介殿

元貴省歐亞局長東郷茂德轉任ニ伴ヒ左記ノ通奏請可相成候處差支ノ有無御回報相煩度候

左記

外務省歐亞局長 井上 庚二郎

救恤審查會審查員被仰付



451

人事課

辭甲第三號

辭令書送付之件

昭和三十二年七月卅日

陸軍次官梅津美治郎



外務次官堀内謙介殿

外務省歐亞局長井上庚二郎

二對又ル

辭令書別紙之通送付ス

救恤審査會審査員被仰付 (十一月二十七日附)

記録簿  
陸軍省  
人事課  
梅津美治郎  
陸軍次官  
梅津美治郎  
陸軍省  
人事課  
梅津美治郎

453

五

北樺太日本人會救恤ニ關スル件

昭和十二年十二月三日

委員兼幹事 栗 信 保 正



454

審査員 井上 庚二 郎

北樺太撤退營時ヨリ引揚民救恤ニ關スル運動ヲ繼續シアリタル北樺太日本人會ヨリ別紙ノ通り請願有之候ニ就テハ本件ハ受理スヘキモノナリヤ、却下スヘキモノナリヤノ意見十二月十日迄承知致度 依命及照會候也  
追テ本件ニ關スル幹事ノ意見左記ノ通候

左 記

一、北樺太日本人會ノ救恤運動ニ伴フ損害經費ハ勅令第百八十二號第一條「帝國軍撤退ノ際引揚ノ爲財産上ニ直接損害ヲ被リタル者」ニ該當セサルモノト認ム

二、本件ハ被害者ト日本人會トノ内部關係ニシテ之ヲ官ニ於テ認ムルコトハ本件類似ノ損害、不同意者ノ異議申立等諸種ノ弊害ヲ生スルヲ以テ審査會ハ一切本件ニ干與セサルヲ可トス  
三、以上ノ理由ニ依リ本件ハ却下スヘキモノト認ム



謝 願 書

北滿太撤退救恤御實施ニ際シ救恤請願ノ爲メニ北滿太日本人會  
ガ發リタル負債ノ償還方ニ付キ特別ノ御陰謀御取計ヒテ仰キ度左記  
實情ヲ具シテ奉請願候

謝 願 ノ 要 旨

大正拾四年北滿太撤退當時ヨリ今日ニ至ル迄本會ハ引揚民ヲ代表シ  
彼等救恤ノ請願并ニ付帶ノ事務一切ヲ擔任處理致居候  
然シテ是レニ要セル經費ハ困難セル引揚民ノ支出ニ待ツ能ハサリシ  
事情ノ下ニ有之候ニ依リ會員全部ノ決議ノ許ニ他日救恤ノ御恩典ニ  
浴スル場合ハ各自御下附金ノ貳割宛ヲ寄付シ以テ是迄支出セル經費  
ニ充當スベク目録見取居候此組織ノ下ニ全會員ハ別紙添付参考書ノ  
如ク記名調印ノ上本會ニ提出シ置キタル次第ニ有之候

如上ノ組織ノ下ニ本會ハ其必要ナル經費ハ會員ノ立替支出ノ外一部  
ハ特志家ノ同情ニスガリ借入レ金ヲ以テ支拂致シ居候

然ルニ請願ヲ繼續スル專前後十二ケ年ノ永キニ互リ債務ノ其間ニ支  
出セル經費ノ總額數万国ノ多額ニ達シ申候是等ノ經費ハ其経費上各  
會員ノ寄付金ヲ以テ償還ニ充當スルハ最モ妥當ナル處置ト認メラレ  
候モ之ガ實行ニ當リ不測ノ故障ト幾多ノ被害ヲ蒙ス莫有之候ノミナ  
ラズ其筋ヨリモ

是迄ノ救恤施行ノ場合ノ如ク費用ト稱シテ中間搾取ヲ爲ササル様  
トノ御注意モ有之候ニ付キ各委員ハ能ク其御意固チ体シ慎重ニ考慮  
致シ候後前述ノ一法會員ヨリ蒐集スベキニ御宛ノ寄附金ハ御然廢止  
スル事ニ決シ其旨全會員ニ通告致シ申候  
右書後方策ヲ決定致シ候上候ニ各委員ガ支出セル經費ハ各自任意處置



退スルモノトシテモ本會ガ負擔セル負債ハ全然償還スルノ途ヲ發見  
スル事ヲ不得候  
脱テハ該負債ハ激進ニ起因セル直接ノ損害トシテ一談救恤金ニ先  
ジ特別ノ御陰謀ヲ以テ救恤金額中ヨリ特ニ本會ニ付下賜被成下慶別  
紙參考書類相添此致奉懇願候

敬白

昭和十二年拾一月廿二日

- 東京市小石川區丸山町四拾三番地
- 北樺太日本人會東京代表者 宮城新昌
- 北海道札幌市南一條西五丁目四番地
- 同 北海道代表者 中野半次郎
- 樺太敷香郡敷香町字本通り南三丁目二番地
- 同 樺太東海岸代表者 吉田辰次郎

- 樺太惠須取町南濱町
- 同 樺太西海岸代表者 高村純平

陸軍大臣 杉山 元 殿

添付書類

一 參考書類 六 紙

以上



北樺太日本人會收支彙算報告

自大正十四年貳月拾貳ケ年間  
至昭和十一年十二月

收入ノ部

一金參萬參千四百圓也

總收入金

内 詳

金五 千 百 圓也

亞港北樺太日本人會ガ引揚前

金參 千 五 百 圓也

ニ募集セル寄付金

金貳 千 圓也

知取町支部寄付金

金貳 千 圓也

惠須取町支部寄付金

金參 百 圓也

本斗町會員寄付金

金六 千 圓也

小樽市新谷專太郎氏ヨリ

大正十五年度 借入金

金貳 千 圓也

高須俊次殿ヨリ

金參 千 圓也

昭和四年度 借入金

金參 千 圓也

同 氏ヨリ

金參 千 圓也

昭和五年度 借入金

金參 千 圓也

横須賀

金五 百 圓也

馬淵曜氏ヨリ借入金

金五 百 圓也

函館市

金五 千 圓也

三浦玄三氏ヨリ借入金

金五 千 圓也

新谷氏へ支拂利子

金參 千 圓也

吉田辰次郎立替

金參 千 圓也

大村由之助氏ヨリ借入金

金參 千 圓也

以上

支出ノ部

一金 參萬 參千 四百 圓也

内 譯

金 壹 千 參 百 圓 也

金 壹 千 七 百 圓 也

金 參 千 九 百 圓 也

金 壹 萬 六 千 六 百 圓 也

金 五 千 圓 也

金 貳 千 五 百 圓 也

總 支 出 金

大正十四年北樺太 退迄本會  
ガ遂行セル各種事業費  
本會小樽事務所費併ニ被害調  
査費

大正十四年知取町山火罹災會  
員へ米贈送付費慰問使派遣費  
十四年度十五年春上京委員費  
上京委員 四名

昭和貳年ヨリ昭和拾壹年迄  
十ヶ年間 運動費

小樽新谷氏へ支拂利子

知取支部 經 費

金 壹 千 貳 百 圓 也

金 壹 千 貳 百 圓 也

惠須取支部 經 費

昭和拾貳年度上京委員費保管  
書類返送費書類再調整費印  
刷費併ニ全會員へノ通信費

以 上

殘 存 債 務 明 細 表

一金 貳萬 六千 圓也

總 負 債 高

内 譯

金 六 千 圓 也

金 五 千 圓 也

金 五 千 圓 也

金 參 千 圓 也

新 谷 專 太 郎 殿

吉 田 辰 次 郎

高 須 俊 次 殿

向氏遺族へ

確定支拂利子

金	金	金	金
五	五	參	參
百	百	千	千
圓	圓	圓	圓
也	也	也	也
殘	三	大	馬
務	浦	村	淵
整	支	由	之
理	三	之	助
費	段	助	段
		段	段

以上

右之通りニ候也

昭和十貳年十二月三日

東京市小石川區丸山町四十貳番地  
 北禪太日本人會東京代表者 宮 城 新 昌  
 北海道札幌市南一條西五丁目四十番地  
 同 北海道代表者 中 野 半 次 郎  
 樺太敷香町字本通り南三丁目二番地  
 同 樺太東海岸代表者 吉 田 辰 次 郎

樺太名好郡惠須取町字南濱町  
 同 西海岸代表者 高 村 純 平

陸軍大臣 杉 山 元 殿

公 信 案

右回答申進候

外 務 省

461

發信用執務用	
主信	
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	(公) 11. 3. 5. 2

特 進 便

文書課長

文書課發送 昭和拾貳年九月九日 發送済

主 任 歐亞局長 第一課

主 任 歐亞局長 第一課

淨書 (原稿) (淨書)

正校 (原稿) (淨書)

昭和 年 月 日 起草

歐一機密 第一一七三號 昭和拾貳年九月九日 附 附屬

陸軍省各計局並計課

受 北樺太引揚事件救恤審査局

信 委員兼幹事 栗橋保正殿

人 北樺太日本人會救恤之南スル件

名 件

本月三日附貴信ヲ以テ 御照会存之クハ 首題

一件之南スル本審査員 兼 見ハ 本件ハ 幹事急

見通之ヲ却下ス可キモノト 認メ 一 件

外 務 省

9 100

460

發信用執務用	
主信	
附	
甲	
乙	
丙	
局	
丁	
備考	...

文書課長	文書課發送	昭和三拾參年四月廿參日發送済	淨書	正校(原稿)	昭和三拾參年四月廿參日起草
主	歐亞局長	第九二號	昭和三拾參年四月廿參日	附屬	
受	坂根總領事	在サンパウロ	名人信發	房外務大臣	
件	北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書	北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書	名件録記	陸軍省撤退係の損害救恤金交付決定通知書	
公	本件は陸軍省の救恤審査会より本月九日付北樺	属才ニ五才ヲ以テ江越辨六ニ対シ別紙ノ通決定アリ	ル趣ヲ以テ決定通知書送付越ニタルニ付テハ右		

北樺審第ニ五號  
北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書  
配布方依頼ノ件  
昭和三拾參年四月九日  
陸軍省內救恤審査會  
外務省御中  
首題ノ件江越辨大外  
別紙ノ通り決定相成リタ  
ルニ付實應經由ノ上夫々本人ニ配布方強度及御依頼候也

陸軍省  
昭和三拾參年四月廿參日

462

23 24

463

陸  
海  
外  
務  
省

歐亞局

公普通第六一〇號

昭和十三年五月十一日

外務省御中

昭和十三年五月十一日附  
合普通第二九三號 哈爾濱外九公館長、關東局總長宛往信寫券付

件名

北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書交付方ノ件

在滿

日本帝國大使館



昭和十三年五月十六日接受  
別紙添付

465

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50.000 鮎川納)

公  
信  
案

外  
務  
省

一括書類ト共ニ  
本人ニ交付方即ち配相分ニ付送ス

別添決定額表、決定通知書、領收書及請求書  
其儘送付ノ事ト

464

合普通第二九三號

昭和十三年五月十一日

別紙添付

寫

在滿洲國  
特命全權大使 植田謙吉

北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書交付方ノ件

北樺太ニアリタル帝國臣民ニシテ大正十四年帝國軍撤退ノ際引揚ノ爲  
財産上ニ直接損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關シ昭和十二年勅令第百八十  
二號ニ基ク陸軍省內救恤審査會ノ審査ヲ經テ夫々左記ノ通決定セラレ  
タルニ付救恤金交付決定通知書（領收書、注意事項ヲ含ム）別添及送  
付ニ依リ御查收ノ上各正當申請者ニ交付方可然御取計相成度  
尙貴館所在地居住者ニ對シテハ貴官ヨリ直接御手交相成様致度此段申  
添フ

本信送付先 哈爾濱、牡丹江、赤峰、延吉、奉天、齊齊哈爾  
錦州、佳木斯、新京、海拉爾各公館長 關東局總長  
本信寫送付先 外務省、陸軍省內救恤審査會



要  
處  
事  
務  
記  
録

摘要	在場大使	日附	歐亞局
並構右引揚民攪官取坦令交付決定 通知書ニ関スル事	陸軍省 秘書官 一 附屬	五月十一日 普通第一〇七号	記録 件名 陸軍省 普通第一〇七号 通知書 攪官取坦令 交付決定 件 通知書 攪官取坦令 交付決定 件

A-1-335-2

東亞局  
要

通 知 書 交 付 了 事  
並 樺 太 引 揚 民 損 害 救 恤 金 交 付 決 定

在 函 工 使  
ヨリ  
陸 軍 小 倉 田  
秘 書 長 官 會  
附 屬  
五月十一日 附  
昭和七年五月拾六日

歐亞局

記録係  
陸軍小倉田  
秘書長官會  
附屬  
昭和七年五月拾六日

歐亞  
13.5.16

歐亞  
13.5.16

467

電信案

外務省

原議用紙乙  
 上回電アリタル  
 在ニ取計ノ差支ハ無キヤ本人ノ印内合セノ

469

(分類)

電信案

外務省

電接第 12732 號  
 昭和十三年五月十六日發  
 在「サンパウロ」  
 坂根總領事  
 廣田大臣  
 江越辦六ニ對スル北樺太引揚  
 救恤金ノ支拂ニ關スル件  
 名件録記  
 第 四六 號  
 申出

電接第 12732 號	主 歐亞局長
昭和十三年五月十六日發	任 主 第一課長
在「サンパウロ」	發 廣田大臣
坂根總領事	
江越辦六ニ對スル北樺太引揚	
救恤金ノ支拂ニ關スル件	
名件録記	
第 四六 號	

電信課長

發電係

昭和十三年五月十六日起草

16

中環

468

歐高第課

第十一課

陸

軍

北救審第三三號

北樺太引揚民救恤金ニ開スル件

昭和十三年五月十六日

陸軍省經理局主計課

外務省亞米利加局第二課 御中

今般在ブラジル江越辨六(サンパウロウ、モカナ線コンキスタラ  
ケアト耕地)ニ對スル北樺太引揚民救恤金、壹千貳百拾圓ト決  
定相成リタル所本救恤金ニ對シ小出秀二ナルモノヨリ代理請求有之  
候モ此間代理關係ニ於テ疑義有之至急本人ノ意思承知致度ニ付賦ニ  
御手數恐縮乍ラ領事館等ヲ經テ電報照會煩度及御依頼候也  
追テ本件ニ關スル電報照會案爲參考添付致候

471

陸軍

電報照會要旨

在ブラジル、サンパウロウ、モカナ線、コンキスタラケアト耕  
地江越辨六ニ對スル北樺太引揚民救恤金一、二三〇圓ト決定セラレ  
タル所、本件ニ對シ小出秀二ナルモノヨリ江越ノ印鑑ヲ使用シ代理  
請求シアルモ仕拂差支ナキヤ

470

歐亞局

公普通第六八五號

昭和十三年六月一日

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙

外務大臣 宇垣 一成 殿

北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件

本件ニ關シ曩ニ陸軍省內救恤審査會ノ通牒ニ基キ管下所轄領事ニ救恤金決定通知書ノ交付方取計置キタル處今般在哈爾濱鶴見總領事ヨリ左記三名ノ救恤金請求書送付越セルニ付茲許及轉送ニ依リ右陸軍大臣ニ轉達方可然御取計相煩度  
尙住所ヲ變更セル近新次郎及中里源太郎ノ住所變更届同封送付ス

記

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50-000 鮎川納)

473

昭和十三年六月六日 接受

12. 6. 06

472

通 知 番 號	救恤金決定額	現 住 所	申 請 者
四八〇二八〇圓	四八一六七〇圓	哈爾濱市馬家溝巴陵街百拾九號	近 新 次 郎
四八八七一〇圓	四八八七一〇圓	哈爾濱市埠頭區石頭街五三	加 島 甲 子 太 郎
		哈爾濱市南崗吉林街二四ノ六	中 里 源 太 郎

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50-000 鮎川納)

發信用執務用			
主信			
附	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考	(分類/門/類 3項3日2-1)		
公	信	案	
昭和十三年六月三日附在 場 館來(往)普通第七二六號(宛附屬書寫)			
付爲御參考右茲ニ送付ス 本信送付先			
本件ニ關シ今般在 滿植田大使ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ 申紙			
名	件	名	人
北樺太引揚民損害救恤金請求ニ關スル件		陸軍省經理局主計課長	
大塚彪雄殿		加瀬 課長	
名件録記		名入信發	
尼港事件 尼港事件並ニオホソシ		加瀬 課長	
事件ノ名メ損害救恤金			
主 歐亞局長 了 任 第一課長 主 歐一普通 第四九八 號 昭 昭和拾參年 六月拾日 日附 附屬			
文書課發送 拾參日發送 淨書 正校(原稿)			

文書課長

別紙

要處分

公普通第七一六號  
 昭和十三年六月三日  
 在滿洲國  
 特命全權大使 植田 謙吉  
 外務大臣 宇垣 一成 殿  
 北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件  
 右赤峰領事館經由左記ノ者ヨリ本件請求書提出アリタルニ付茲許  
 及轉送ニ依リ右陸軍大臣ニ轉達方可然御取計相煩度  
 記  
 (通知書番號)(金額)(現 住 所)(申請 者)  
 四七七 六七〇圓 熱河省赤峰縣三道街四五番 井上 サトエ 戶  
 在滿日本帝國大使館

歐亞局

陸軍省經理局

別紙添付

昭和十三年六月八日 接受

13.6.08

(12. 11. 50.000 粘川納)

10 11

475

474

發信用	執務用
主信	
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	

題案

文書課發達 昭和十三年六月拾五日發送済

主 歐亞局長 一

管 歐一普通 第五〇五號 昭 昭和十三年六月十三日起草

受 陸軍省經理向主計課長

信 大塚彪雄 殿

人 北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件

名 件

本件ニ關シ今般在 滿植田大使 ヲリ別紙寫ノ通報告アリタルニ

付 齋御奉考右茲ニ送付ス

本信送付先

(昭和十三年六月一日附在 滿 館來(在) 普通機第六八五號寫並附屬書寫)

公 信 案

外 務 省

13 89

別紙

477

要處分

通知書救恤金 番 號 決定額

五四二六二〇

五〇二一〇〇

現 住 所 申 請 者 備 考

滿洲國三江省 三姓城內東大街 琴 原 太 藏

大連市紀伊町拾番地 佐 藤 一 雄

在佳木斯總領事館分館提出

本人直接提出

北樺太引揚民ノ損害救恤金請求ノ件

本件ニ關シ夫々左記ノ通請求書提出越セルニ付茲許及轉送ニ依リ

御查收ノ上右陸軍大臣ニ轉達方可然方可然御取計相煩度

記

外務大臣 宇 垣 一 成 殿

在滿洲國 特命全權大使 植 田 謙

昭 和 十 三 年 六 月 十 日

公 普 通 第 七 四 八 號

歐亞局 第一課

昭和十三年六月拾五日接受

別紙添附

13.6.15

在滿日本帝國大使館

(12.11.50,000 鮎川納)

476

歐亞局

公普通第八〇六號

昭和十三年六月二十三日

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙



外務大臣 宇垣 一成 殿

北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書交付方ニ關スル件

本件ニ關シ陸軍省內救恤審査會發當館宛四月九日附北救審第二五號依頼ニ依リ夫々所轄領事官ニ交付方取計置キタル處左記ノ者ハ精査ノ結果現住所ニ居住ノ形跡無之又當館ニハ申請當時ノ關係書類皆無ノ爲原籍地其他調査不能ナルニ付救恤金交付決定通知書一通別添セルニ付右一應救恤審査會ニ返戻方可然御取計相仰度

要處分

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50,000 鈔川納)

479

記			
通知書 番 號	救恤金 決定額	現 住 所	申 請 者
四八七	三三〇圓	新京東一條通六〇	高野 榮太郎

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50,000 鈔川納)

別紙添付

昭和十三年六月廿九日接受



478



發信用執務用		主信		附		屬		備考	
				甲		乙		丙	
備考 (分類 A 1.3.2 5-2)									
文書課長									
文書課發 昭和拾陸年六月廿七日發送									
主 歐亞局長									
任 第一課									
昭 昭和拾陸年六月廿五日 日附 附屬									
淨書									
正校(原稿)									
和 十三年六月廿九日起草									
名 件 陸軍省經理局長									
名 人 信 發 大塚彪雄 殿									
北樺太引揚民控室收付金請求									
本件ニ關シ今般在 滿樺大使									
別紙字一通申越シタル付									
付爲御奉考右様送付									
本信送付先									
(昭和十三年六月十日附在場 館來在往) 第七四八號寫並附屬書寫									
外務省									
別紙									
25 104									
480									

發信用執務用		主信		附		屬		備考	
				甲		乙		丙	
備考 (分類 A 1.3.2 5-2)									
文書課長									
文書課發 昭和拾陸年七月 壹日發送									
主 歐亞局長									
任 第一課									
昭 昭和拾陸年六月廿日 日附 附屬									
淨書									
正校(原稿)									
和 十三年六月三十日起草									
名 件 陸軍省經理局長									
名 人 信 發 大塚彪雄 殿									
北樺太引揚民控室收付金請求									
本件ニ關シ今般在 滿樺大使									
別紙字一通申越シタル付									
付爲御奉考右様送付									
本信送付先									
(昭和十三年六月十日附在場 館來在往) 第七四八號寫並附屬書寫									
外務省									
別紙									
30 107									
481									

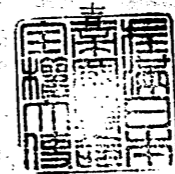
歐亞局

公普通第九一四號

昭和十三年七月九日

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙



外務大臣 宇垣 一成 殿

志水石  
移時  
シ  
フ

北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書ニ  
關スル件

本件ニ關シ屢次申進ノ次第有之處左記ノ者ハ牡丹江領事館ニ於テ  
交付方取計タルモノナルモ現住所ニ於テ派出婦稼業中昨年夏頃死  
亡セリトノ聞込モアリ又緣故其ノ他ニ付銳意調査セルモ正當權利  
者所在不明ノ爲交付不能ノ趣ナルニ付テハ本名ニ對スル通知書別

妻處分

在滿日本帝國大使館

(13,4,01,000枚)

483

添セルニ付右一應陸軍省ニ返戻方可然御取計相煩度  
記

通知書 番 號	金 額	現 住 所
四九四	一、〇二〇 圓	牡丹江省寧安縣牡丹江平安街牧田つる 七ノ三

(13,4,01,000枚)

在滿日本帝國大使館

昭和十三年七月拾參日接受  
別紙添付



482

要處分	要移牒	要研究	政務班	權益班	蒙疆班	宣傳班	庶務班
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件

歐亞局

公普通第九五七號

昭和十三年七月十六日

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙吉

外務大臣 宇垣 一成 殿

北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件

本件ニ關シ屢次申進ノ次第有之處今般在錦州領事館ヲ經テ左記ノ  
通夫々請求書一通及領收書正副各一通提出有之タルニ付茲許及轉  
送ニ依リ御查收ノ上右陸軍大臣ニ御轉達方可然御取計相成度

記

在滿日本帝國大使館

(13, 4, 0, 000枚)

歐亞  
13. 7. 20  
一課

485

要處分

志水

陸軍

延陽

延陽

歐亞局

公普通第九三三號

昭和十三年七月十三日

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙吉

外務大臣 宇垣 一成 殿

北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件

本件ニ關シ在延吉領事館ヲ經テ左記ノ者ヨリ請求書並住所變更届  
提出越セルニ付茲許及轉送ニ依リ右陸軍大臣ニ轉達方可然御取計  
相成度

記

(通知書番號) (金額) (現住所) (氏名)

四七九

七六〇圓

朝鮮水原郡木原驛前日滿土  
木出張所

德丸

與一

在滿日本帝國大使館

(13, 4, 0, 000枚)

別紙添付

昭和十三年七月拾八日接受

歐亞  
13. 7. 18  
一課

484

粟利加局

第二課長

(分類)

電 信 案	何分儀申回電アリタシ	往電市四六号ニ関シ	管主	電送第	19189 號
			主	日	昭和十三年七月二十日
外 務 省			電信課長	件	江越 弁六ニ付シ北村 太
			主	名	引揚救恤金支拂函三件
			任	宛	坂根 總領事
			主	在	在 カン。ハウロ
			第一課長	發	宇垣 大臣
				發電保	
				昭和十三年七月二十日 起草	
				第七少	名件録記
				號	( )

電信課長

主 歐亞局

任 主 第一課長

昭和十三年七月二十日 起草

20 22

487

在滿日本帝國大使館

五 一 一	四 九 三	(通知書 番 號)
三 一 〇	二 四 〇	(金 額)
錦 州 省 錦 縣 大 馬 路 二 丁 目 杉	錦 州 省 錦 西 縣 壺 島 賓 來 街 二 丁 目 一	(現 住 所)
鹿 尾	矢 口 巳 之 助	(氏 名)

(13, 4, 01, 000枚)

486

A. 1. 3. 3. 5-2

公 信 案	(昭和 年 月 日附在 滿 館來 普通 第九三三 號寫並附屬書)	本備送付先	付爲御奉考右茲ニ送付ス 本件ニ關シ今般在 植田大使 ヨリ別紙寫ノ通報書ニ 本備送付先	受 信 人 名 陸軍省 經理局 大塚主計課長	發 信 人 名 加瀬 政重局第一課長	記 録 件 名 北樺太引揚民損害救恤金 請求 1 件	主 管 歐 一 普通 第六三三號 昭和昭和拾參年七月廿九日附 附屬	主 任 第一課	文書課發送 昭和拾參年七月卅日 發送 淨書 中 正校(原稿) 谷 (淨書)	文書課長
				別紙						

29-82

489

公 信 案	(昭和 年 月 日附在 滿 館來 普通 第九一四 號寫並附屬書)	本備送付先	付爲御奉考右茲ニ送付ス 本件ニ關シ今般在 植田大使 ヨリ別紙寫ノ通報書ニ 本備送付先	受 信 人 名 陸軍省 經理局 大塚主計課長	發 信 人 名 加瀬 政重局第一課長	記 録 件 名 北樺太引揚民損害救恤金 交付決定 通知書	主 管 歐 一 普通 第六三一號 昭和昭和拾參年七月廿九日附 附屬	主 任 第一課	文書課發送 昭和拾參年七月卅日 發送 淨書 中 正校(原稿) 谷 (淨書)	文書課長
				別紙						

29 33

488

公普通第九五七號

昭和十三年七月十六日

在滿洲國

特命全權大使 植田謙吉

外務大臣 宇垣一成 殿

北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件

本件ニ關シ屢次申進ノ次第有之處今般在錦州領事館ヲ經テ左記ノ通  
夫々請求書一通及領收書正副各一通提出有之タルニ付茲許及轉送ニ  
依リ御查收ノ上右陸軍大臣ニ御轉達方可然御取計相成度

記

490

外務省

13.6

491

(通知書  
番號)

四九三

(金額)

二四〇

(現住所)

錦州省錦西縣壺盧島  
寶來街二丁目一

(氏名)

矢口巳之助

五一

三一〇

錦州省縣大馬路一丁目

杉鹿尾

外務省

13.6

REEL No. A-0306

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 文書 會計 祕書官

寫送先

1.1.3.3.5-2

昭和13 二三四五一 略

聖市 八月十日 後發  
本省 十一日 前着

歐

字垣外務大臣

第一〇五號

貴電第七八號ニ關シ（江越辨六北樺太引揚救恤金支拂ノ件）

本人所在不明ノ爲新聞廣告等ヲ爲ス要アリテ暇取リタル處最近漸ク

判明目下代理受取ノ諾否問合中ナリ（了）

江越辨六北樺太引揚救恤金支拂ノ件

外務省

電信課長

發電係

昭和十三年八月十日起草

管主

歐亞局長

主任 第一課長

昭和十三年八月十日起草

亞米利加局

第二課長

電送第 21471 號

昭和十三年八月十日 9時20分 發

宛

在「サンパウロ」  
坂根總領事

江越弁六ニ於スル北  
樺太引揚救恤金支拂  
ノ件

名件録記

字垣大臣

往電 第七五号ニ向シ

關係者ノ催迄モアルニ付 江越ト連絡ノ有無ナリトモ至急

回電アリ

(分類)

電信案

外務省

493

492

大臣  
次官

電信課長

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

分類 1. 3. 3. 5-2

昭和13 二四一九八 略 聖市 八月十七日後發 本省 十八日前着 歐

宇垣外務大臣

第一一二號

往電第一〇五號ニ關シ

江越辨六ハ死亡セル趣ヲ以テ同人長男タル現戸主辨一當館ニ出頭小  
出秀ニ救恤金ヲ交付セサル様願出アリタル事由アルニ付右様御了  
知相成度ク關係書類郵送ス(了)

外務省

件 甘薩哈噶依達官子位一は  
改定厚救恤金ニ付  
拉安林也

494

庶務班	宣傳班	蒙疆班	權益班	政務班	要務班	要務班	要務班
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

歐亞局 第一三三三號

公普通第一〇九四號  
昭和十三年八月二十日

在滿洲國 特命全權大使 植田 謙

外務大臣 宇垣 一成 殿

北樺太引揚民損害救恤金交付決定書ニ關スル件

本件ニ關シ屢次申進ノ次第有之處在海拉爾領事館所管ニ係ル左記  
ノ者現住所ニ居住セス又各方面ニ付所在ヲ調査スルモ判明セサル  
ニ付本人ニ對スル救恤金交付決定通知書一通別添セルニ付右一應  
陸軍省ニ返戻方可然御取計相煩度

記

昭和十三年八月廿四日接受  
別紙添付

495

抄本  
陸軍省(ハ)仲於林行

在滿日本帝國大使館

(13. 4. 01, 000枚)



四六九	通知書 號
七三〇 〇〇	金額
滿洲國興安嶺 榊谷組興安嶺出張所	現住所
庄内周治	申請者
阿部熊喜治	被害者

在滿日本帝國大使館

(13. 4. 01. 000枚)

496

REEL No. A-0306

昭和十三年十一月十五日陸軍省主計課  
北原氏奉訪本件付照會ニ所アリニ依リ  
坂根領事館ハ戸二八六號ノ趣旨ヲ傳ヘ左位  
本尾ノ書類ヲ取揃フコトヲ待ツトニ諒解濟  
宿白

南米ツルシル片位者拜誠弁言(本人記述)  
ノ書類并一ノ以擇大村恒倉受取ノ書類  
ハハ存奉即座在ノ以取人ノ支拂ハ見付  
取取支取ノ書類并一ノ以擇大村恒倉受取ノ書類  
坂根領事館ニ取揃フコトヲ待ツトニ諒解濟  
宿白

モ同人カ故辨六ノ正當相續人タルコトヲ證明モ必要ナリヤニ思考セ  
 ラルルニ付右證明書トシテ同人ヲシテ原籍地ヨリ戸籍謄本ノ取寄方  
 命シ置キタルニ付右接到ノ上關係書類一括御送付可致キニ付右様御  
 了知相成度此段申進ス

要 務 班	宣 傳 班	蒙 疆 班	權 益 班	政 務 班	要 務 班	要 務 班	要 務 班
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

要務班  
要務班  
要務班

陸軍省主計課  
北原氏送附

公第シハ八號

昭和十三年八月二十六日

在サンパウロ

總領事 坂根 準 三

根 準 三



外務大臣 宇垣 一成 殿

北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書等  
 送付ノ件

四月二十三日附歐一普通第九二號貴信ヲ以テ御申越ノ本件ニ關シ  
 テハ本月中旬拙電ヲ以テ江越辨六死亡セルニ付同人長男タル現戶  
 主江越辨一當館ニ出頭シ小出修二ニ本件救恤金ノ交付ヲ差シ控ヘ  
 ラレ度キ旨願出有之タル次第不取敢申進シ置キタル處今般同人ヨ  
 リ辨六死亡證明書(同人現住所パウロ)領事館管内ナルニ付同地  
 領事發給ノモノ)ヲ添ヘ請求書及領收證(二通)ヲ送付越シタル

昭和十三年九月廿三日接受

公第二八六號

昭和十三年八月二十六日

外務大臣 宇垣一成殿

在「サンパウロ」  
總領事 坂根準三

北樺太引揚民損害救恤金交付決定通知書等  
送付ノ件

四月二十三日附歐一普通第九二號貴信ヲ以テ御申越ノ本件ニ關シテ  
ハ本月中旬拙電ヲ以テ江越辨六死亡セルニ付同人長男タル現戸主江  
越辨一當館ニ出頭シ小出修ニ本件救恤金ノ交付ヲ差シ控ヘラレ度  
キ旨願出有之タル次第不取敢申進シ置キタル處今般同人ヨリ辨六死  
亡證明書(同人現住所「パウロ」領事館管内ナルニ付同地領事發  
給ノモノ)ヲ添ヘ請求書及領收證(二通)ヲ送付越シタルモ同人カ  
本件救恤金ノ交付ヲ受ケントセハ故辨六ノ正當相續人タルコトノ證

(日本標準規格B5)

外務省

500

證明モ必要ナリヤニ思考セラルルニ付右證明書トシテ同人ヲシテ原  
籍地ヨリ戸籍謄本ノ取寄方命シ置キタルニ付右接到ノ上關係書類一  
括御送付可致キニ付右様御了知相成慶此段申進ス

(日本標準規格B5)

外務省

499

要處分	要移牒	要研究
庶務班	宣傳班	蒙疆班
權益班	政務班	

公普通第一二四三號	昭和十三年九月二十二日	在滿洲國 特命全權大使 植田 謙
外務大臣 宇垣 一成 殿		
北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件		
本件ニ關シ屢次申進ノ次第有之處今般左記ノ者ヨリ救恤金請求書 領收證、住所變更届ノ提出アリタルニ付茲許及轉送ニ依リ右陸軍 大臣ニ轉達方可然御取計相成度		
記		
番號	金額	住所
五〇一	七二〇〇〇	天津特三區槐蔭里 二九號官坂大吉方
氏名		佐波 タマ

在滿日本帝國大使館

(18,460,000枚)

歐亞局

第一

昭和十三年九月廿七日接受  
別紙添付

502

發信用	執務用
主信	
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	

文書課長	文書課發給	昭和十三年八月廿九日發送済	淨書	正校(原稿)	昭和十三年八月廿九日起草
主 管	歐亞局長				
歐一普通	第七五〇號	昭和十三年八月廿九日附			
受 信 人	陸軍省經理局主計課長		加瀬	歐亞課	
名 件	大塚彪雄		尼送事件		
	北樺太引揚民損害救恤金請求書送付		件名ノ損害救恤関係		
本件ニ關シ今般在場大使					
付爲御參考右茲ニ送付ス可也御取計相成度					
本信送付先					
(昭和十三年八月二十日附在場)					
館來(在場)					
普通第一二四三號寫附局書					
外務省					

29 49

501

發信用 執務用					
主信					
附屬	甲				
	乙				
	丙				
	丁				
備考	分送 1. 3. 3 5-2				
公 信 案	歐亞局長		主 任 第 一 課 長		昭和 年 月 日 起草
	歐一普通 第八三六號		昭和 年 月 日 附 屬		昭和拾參年拾月 四日發達
受 信 人 名	陸軍省 經理 尙		加 瀬 歐亞局長 第一課長		淨書 (原稿) (淨書)
件 名	北樺太引揚民損害救恤金請求ニ關スル件		名件録記 北樺太引揚民損害救恤金請求ニ關スル件		正校 (原稿) (淨書)
本件ニ關シ今般在 滿 植田大使		ヨリ別紙寫ノ通報書ニ		別紙	
付屬御書右茲ニ送付ス		可然 御取計相成度		3 109	
本信送付先		(昭和十三年九月二十一日附在 滿 館來信 第一二四三號寫並附屬書)		503	
外 務 省					

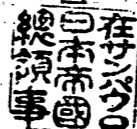
REEL No. A-0306

歐亞局

公第 四三七 號

昭和十三年十二月十二日

在「サンパウロ」  
總領事 坂 根 準 三



外務大臣 有 田 八 郎 殿

北樺太引揚民損害救恤金申請書等送付ニ關スル件

本件ニ關シテハ八月二十六日附普通第二八六號拙信ヲ以テ被救恤者故江越辨六長男辨一ニ於テ同人カ辨六ノ正當相續人タルコトヲ證明スル戸籍謄本ヲ本籍地ヨリ取寄ノ上關係書類一括送付致スヘキ旨不取敢申進シ置キタル處本日同人當館ニ出頭別紙ノ通り願出人現住所管在「パウルー」早尾領事發給ニ係ル戸籍事項證明願ヲ提出申請方再應願出有之タリ就テハ關係書類左記ノ通り送付申進スルニ付可然御詮議相成様致度尙辨ニ申出ニ依レバ戸籍事項ニ付何等誤謬無之

別紙添附



504

505

ヤニ存セララルルモ貴方ニ於テモ更ニ本籍地ニツキ御調査相成リ本人カ正當權利者ニ相違無之場合ニハ本件救恤金當館宛御送付相成度併セテ御依頼申進ス

記

- 一、陸軍大臣宛請求書 壹通
- 一、救恤金領收證 貳通
- 一、在パウルー領事發給死亡證明書 壹通
- 一、同 上 壹通
- 一、戸籍事項證明書 壹通

以上

發信用執務用	
主信	
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
備考	小通 1.13.3.5-2

記録

添付書類

ニ付右茲ニ送付ス可然御取計相成波シ

一 昭和十三年十二月十日附公第四三七号在サンパウロ

一 坂根總領事來信字

一 江越辨一提出陸軍大臣宛請求書巻道

一 救恤金領收証式道

一 在パウロ一領事宛宛死亡証書巻道

公 信 案

外 務 省

507

文書課長	
文書課發送附拾四年貳月 七日	
主 任 第一課長	
昭和十一年一月三十一日	
附屬	
陸軍省經理局	
大塚主任課長	
改亞局第一課長	
薩哈噠冰境一軍千係一件	
冰邊軍撤退ニヨル損害救恤手帳	
江越辨一提出ニ係ル北樺太引揚民損害	
救恤金申請書類送付一件	
今般在サンパウロ坂根總領事ヨリ今管内在	
留江越辨一提出ニ係ル北樺太引揚民損害	
救恤金申請書類添付別紙字一由リ申越セ	

別紙

6 108

506



記録

(分類 A.1.3.3.5-2)

外務省改訂局第一課中

右領收候也

昭和十四年二月 日

北原 繁之助

外務省

(18. 5)

一 外務省改訂局第一課長宛陸軍省經理局主計課長宛昭和十四年一月 日附政一普通第一〇〇号公信及別紙 志通

一 右附属書類

(一) 江越辨一提出ニカカル昭和十一年勅令第八十二号ニ依ル救恤金請求書 志通

(二) 同上領收證 志通

(三) 在ハウル一領事宛給付死亡証書 志通

(四) 同上戸籍事項証明書 志通

領收証

陸軍省改訂局第一課長宛  
陸軍省改訂局第一課長宛  
陸軍省改訂局第一課長宛  
陸軍省改訂局第一課長宛  
(美濃半紙) 〇〇

公 信 案

外 務 省

一 〇

戸籍事項証明書 志通

(以上)

(別紙) 前記取扱給付手続信立作成ノ上附属書類 其信立者ニ添付ノコト

平條、就、在、樓、格、別、全、所、配、處、の  
須、有、難、深、海、作、下、尚、今、後、の  
以、依、頼、の、場、を、開、く、に、宜、敷、く、計、を  
打、出、す、に、願、ふ、事、也、

鶴岡 康  
全代  
北原 葉子

漢  
軍

510

REEL No. A-0306

0584



REEL No. A-0306

0585



REEL No. A-0306

0585

分類 1.3.5.5-k

東亜局  
歐亞局

第一課

陸軍

陸軍省經理局主計課  
14.2.23  
収

北救養第七八號

北樺太引揚民救值金交付ニ關スル件

昭和十四年二月 日

陸軍省經理局主計課長

外務省歐亞局第一課長 殿

客年來種々第配慮ニ預リ候左記ノ者ニ對スル救值金ハ二月十七日  
パウルー領事館氣付本人宛ニ送金致シ候ニ付此段及御通報候

左記

南米伯國サンパウロ州ハウリストタ練マリリヤ

江越辨六 相續人 江越 辨一

救值金 千二百三十圓

512

REEL No. A-0306

歐亞局

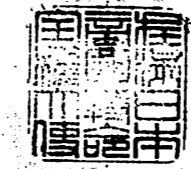
公普通第三四四號

昭和十四年四月六日

在滿

特命全權大使 植田 謙

外務大臣 有田 八郎 殿



北樺太引揚民損害救恤金請求ノ件

今般左記ノ者ヨリ本件請求ニ關シ改印及代理人受領方在佳木斯田中副領事經由左記書類整備ノ上手續方願出アリタルニ付右一括茲許及轉送ニ依リ陸軍大臣ニ轉達方御取計相煩度

記

(通知書番號)

(金額)

(現住所)

(申請者)

在滿日本帝國大使館

(18, 4, 60, 000枚)

別紙添附

昭和十四年四月拾日 接受

51

513

514

五〇八	二六〇圓	三江省樺川縣 佳木斯市城濠街	清水シケ 代理人 清水 萬吉
附屬書類			

- 一、清水シケ改印ニ伴フ印鑑證明 一通
- 一、清水萬吉ニ對スル代理委任狀 一通
- 一、清水萬吉ノ印鑑證明 一通
- 一、救恤金請求書 一通

在滿日本帝國大使館

(18, 4, 60, 000枚)

REEL No. A-0306

0588

發信用執務用			
主信	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考		分類 1/3.3.5-2	
公 信 案	本件ニ關シ今般在滿洲口植田大使ヨリ別紙寫ノ通報書ヲタルニ 付爲御参考右茲ニ送付ス 可報御取付相成度 本信送付先 (昭和十四年四月六日附在滿 館來電 普通第三四四號寫附屬書書)		陸軍省經理局 主計課長 大塚 彪 雄
	本件ニ關シ今般在滿洲口植田大使ヨリ別紙寫ノ通報書ヲタルニ 付爲御参考右茲ニ送付ス 可報御取付相成度 本信送付先 (昭和十四年四月六日附在滿 館來電 普通第三四四號寫附屬書書)		陸軍省經理局 主計課長 大塚 彪 雄 陸軍省經理局第一課長 宇東 次 亞 高
歐一普通 第二五〇號 昭和十四年四月拾參日 附屬		主 任 第一課長 昭和十四年四月拾參日 附屬	
文書課發送 昭和十四年四月拾參日發送済 淨書 正校 (原稿) 九二 (淨書)		文書課長 (隨野)	

別紙

13 92

515